

さくせすふるえいじんぐ

successful aging

第86号(令和6年11月号) 発行日 令和6年11月1日

吉祥寺ホーム 創設30周年記念 第3号

《寄稿》

吉祥寺ホーム30周年に寄せて

吉祥寺ナーシングホーム施設長 能丸 創

- 座談会「公設民営から自主運営へ・・・」
- 吉祥寺ホーム創設30周年記念に向けて デイサービスセンター
- 北町キャラバン開催中です! 在宅介護・地域包括支援センター
- ボランティアさんより



Instagramはじめました!
吉祥寺ホーム(@kichijojihome)
皆様のフォローお待ちしております♪

社会福祉法人 至誠学舎東京

高齢者総合福祉施設 吉祥寺ホーム
〒180-0001

東京都武蔵野市吉祥寺北町2-9-2

TEL 0422-20-0800 FAX 0422-20-0897

URL <http://www.kichijoji-home.com/>

発行責任者 大久保 実

発行 広報委員会

吉祥寺ホーム 30周年に寄せて

吉祥寺ナーシングホーム施設長 能丸 創



30th Anniversary

はじめに、この度吉祥寺ホームの30周年を無事に迎えられたことに對し、関係機関をはじめ、地域の方々や多くのボランティアの方々、そして吉祥寺ホームに関わった職員の方々に対して心より感謝申し上げます。



私は、平成6年の開設時は特別養護老人ホームにて介護職員として勤務させて頂いておりました。閑静な住宅地に武蔵野市で初めての特別養護老人ホームの開設とあって、開設前の見学会などには、周辺住民の方々がたくさんいらっしやり、施設内の見学はもちろんのこと、設備や環境などを細かくご覧になられて、多くのご質問や励ましのお言葉を頂いたことを昨日の事のように覚えております。逆にそれが関心度の高さや大きな期待の表れと感じ、この地域で多様な世代の方々とのつながりを拡げていく役割を担っていか

ければという自覚と重要性を強く感じました。しかし、開設当初は全てが初めてのことはかりでしたので、今でこそ多くの方々ボランティアとして施設で活動してくださっておりますが、どんな所に誰に依頼したら良いのか分からず、当初は施設内に入入りする地域の方々には殆どいらっしやいませんでした。

そんな中で、市内の様々な地域社協の存在を知り、少しずつ幅広く交流を重ねる事で施設へのご理解・ご協力を賜ることに繋がっていき、大変有難い事に施設内での活動人数も増えていきました。こうした積み重ねから「地域」に少しずつではありますが、施設・法人として根付いてゆき、その時々の社会福祉の課題に取り組んでいけるよう「地域」に育てて頂きながら、30周年を迎える今、地域と共に育つことが出てきているのではないかと個人的に思っております。

平成18年からは在宅介護の部門へ異動し、在宅の方へのサービス提供やご家族との関り、関係事業



者との連携や、地域の方々のご協力を頂く機会があり、どのサービス



に関わつても地域住民の方々や地域社協のお力を頂く事が多く、これほど地域社協が関わってくださる地域は他の市区町村ではないのではないかと感じました。在宅介護の部門では施設外での関りが多く、客観的に施設の事を考えるきっかけにもなり、吉祥寺ホームという施設の存在が地域にどのような受け止められ、そしてどのような事に期待をされているのかを知り得る良い機会となりました。現在では武蔵野市内でも多くの特別養護老人ホームが出来ておりますが、30年という年月を経て、地域の方々だけでなく、武蔵野市民の皆様にも吉祥寺ホームを認めていただける存在になったのではないかと感じております。

そうした日々の中で、自分自身も施設の歴史と共に成長させて頂き、共に30年という月日が流れました。思い起こせば九州の田舎から上京し、東京の介護をしっかりと学び故郷で反映させる、と意気込んで就職し、様々な経験や様々な人との出会いを基に、自分たちも家族も入れたい・使いたいと思える施設に、という運営方針の実現に向けて一生懸命取り組

んでまいりましたが、長きに渡り当施設を率いられた大久保前施設長からバトンをお預かりする事となり、現在の立場に立って2年が過ぎました。

また新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、フロア内の出入り完全解除やご家族のフロア内の出入りも制限があり、以前のような生活を取り戻すにはもう少し時間を要すと思いますが、当たり前の生活が当たり前に過ごせる日が迎えられるよう努めてまいります。

最後にご利用者、ご家族の皆様にはこれまで同様施設運営にご理解を賜りますようお願い申し上げます。また地域のボランティアの皆様、近隣の皆様、関係事業者の皆様方におかれましては今後ともご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



吉祥寺ホーム
30周年記念座談会



開催日：令和6年6月24日

三上理事長
大久保ホーム長
能丸施設長
篠宮室長(地域サービス室)
小泉室長(生活サービス室)
阿主任(養護サービス室)
木村職員(生活サービス室)
渡部職員(生活サービス室)

吉祥寺ホーム30周年を記念して座談会を開催しました。開設準備室から吉祥寺ホームに携わり、今なお当施設にて現役で活躍している職員と、前吉祥寺ホーム長の三上理事長にもご参加いただきました。今回はその第2弾として、民営化と介護保険のスタートについてお話しして頂きました。

～公設民営から自主運営へ～

大久保：あらためまして、お集まっていたいただいた皆さまにお話をうかがっていききたいと思えます。どうぞよろしくお願ひいたします。

これまで吉祥寺ホームの立ち上げの話をうかがいましたが、ここからは公設民営であった施設が自主運営へと変化していった時代の流れについてお聞きしたいと思います。

それまで特別養護老人ホームである吉祥寺ナーシングホームは武蔵野市立、養護老人ホームである吉

民営化

祥寺老人ホームは東京都立と、公設の施設であり、運営は社会福祉法人至誠学舎が行う民営の施設だったのが、平成16年から17年にかけて完全に民営化施設となりました。



高齢者総合福祉施設・吉祥寺ホームとしては、この頃が大きな変化の時となったように思います。その変化の背景などについてお聞かせいただけますか。

三上理事長：自主運営が始まる時期は行政にとって大きな転換期でした。行政が直接福祉・介護サービスを提供するのではなく、行政の役割は指導・調整役になるという役割の変化がありました。養護老人ホームである吉祥寺老人ホームは、この方針により民営化を推進しました。

また、施設運営の民営化の背景として、介護保険法のスタートが大きな要因としてあったと思います。特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)である吉祥寺ナーシングホームは介護保険法に基づいて運営がされる施設となりました。

介護保険では、入所系サービス、在宅系サービスに様々な経営主体が参入することになり、行政がサービス提供の主体から転



換する必要があることも重なり、吉祥寺老人ホームと吉祥寺ナーシングホームが共に自主運営へ転換することになりました。



自主運営ということでは、経営責任が法人になった訳ですが、吉祥寺老人ホームは従来通り老人福祉法に基づいて運営する措置施設として継続であったのに対して、吉祥寺ナーシングホームは介護保険法に基づき運営するということになり、運営の根拠となる法律と財源も異なることになったわけです。



東京都立の施設と武蔵野市立の施設運営を一体化させていくことは、施設の開設前から様々な難しさがあったのですが、介護保険法が施行となることで、施設の運営財源の根拠も別になり、さらに困難さが生じました。

大久保：この頃に法人の分割もありましたよね。

三上理事長：そうですね。そのことは施設の自主運営化への動きに直接的には関与しませんが、それまでは至誠学舎という一つの社会福祉法人であったのが、至誠学舎東京と至誠学舎立川とに分割となりました。

今その頃を振り返ってみると、本当に矢継ぎ早にいろいろなことが起きた時だったと思います。

篠宮：法人の分割については、その

時に健康保険証が変わったことを覚えています。理事長の話のように、この頃は本当に色々なことがあり大変でしたよね。



三上理事長：あまりにも大きな制度と法人の変化があつて大変でした。しかしながらその状況下でも、特別養護老人ホームや養護老人ホームにおける果たすべき役割については見失わないようにしながら議論を重ねていきました。その結果、ご利用者やそのご家族、地域の方々にご理解と応援をいただいで、また当時在籍されていた行政の方の協力もいただきながら推し進めていくことができました。



能丸：当時介護の現場にいた自分にとっては、正直なところ何が行われているのかは知ることがなかったのですが、今改めて話を伺うと大変なことがあったのがよくわかりますね。

大久保：そうですね。能丸さんから、介護の現場にいた職員には何が行われているかまで細かい事はわからなかったと話がありました。が、どうでしょう、か、民営化となつたことで何か変化がありましたか？

～介護保険法施行の影響～

阿：これは民営化になったことか

らだけでなく、介護保険法が施行されたことにも影響するのでしょ
うが、職員体制が変わりましたね。



大久保：どのようになつたのですか？

阿：職員の配置が変化したと思います。特別養護老人ホームの吉祥寺ナーシングホームは、開設当初は夜勤に看護職員がいました。それが徐々にですが、介護職員だけで夜間帯のケアをするようになっていきました。今は吉祥寺ナーシングホームも含め、近隣の特別養護老人ホームはいずれも夜勤は介護職員だけです。

大久保：施設開設当時の夜勤のことを皆さまご存じだと思いますが、体制が大きく変わり、そのことで今の夜勤は不安ですか？



木村：いいえ、不安はないです。勤務表を組むのに管理者がバランスを見て、新人職員だけになることは無いですし、そもそも夜勤に入るようになる前にはしっかりと研修をしているので、あまり不安になることは無いのかなと思います。

小泉：夜間帯に、緊急時には看護職員に電話で相談できるオンライン体制もありますね。さらに必要であれば管理者に相談も



しやすい体制になっていると思います。

大久保：そうですね。職員体制の変更を様々な背景から余儀なくされましたが、それから工夫をしながら、ご利用者も職員も安心できる環境づくりに努めているということですね。

ここまでで、渡部さんコメントありますか？



渡部：今、私が勤務している吉祥寺ナーシングホームがここまでになる前に、いろいろな準備や苦労があったことをお聞きして、驚いたり感銘を受けたりしています。私たちがこの先も次へとつなげていかなければという、新たにそういう思いになりました。

三上理事長：大きな変化に伴って少し無理をしなければならぬこともありました。先ほどにも話したように、ご利用者やそのご家族が理解、協力をしてくださったことが大きな力となりました。また、職員には無理なお願いをすることもありませんでしたが、皆さんの協力もあって、一致団結して乗り越えることができたと思っています。

少し話が変わりますが、当時からベテラン職員と若手職員と、両者が一緒に物事に取り組んでいました。もちろん先輩職員がリーダーシップを発揮しながら進めま

すが、若手職員も臆せず自分の意見を言える雰囲気があったと思います。そのような環境で育った若手職員だった人たちが、今日ここに集まっています。



その先輩職員が、渡部さんのような若手職員とコミュニケーションを取りながら、丁寧に指導をするという体制が構築できています。そのことはとても大事なことです。そして、またさらに渡部さんたちの世代から次の世代へと、その体制をつなげていっていただきたいと思っています。

大久保：本当にそうですね。では、この後はさらに民営化から現代までのことで、皆さまの心に残るエピソードなどをお聞きしたいと思っています。

次号へつづく...

どう違うの？疑問にお答えします
養護老人ホームとは・・・
精神的・経済的理由により在宅生活が困難な高齢者の社会復帰を促す施設

特別養護老人ホームとは・・・
施設サービス計画にもとづき、常時介護を必要とする方に食事、排泄、入浴などの介護サービスを行う施設

座談会参加者紹介

- 三上義樹理事長 昭和60年入職
サンメール尚和勤務を経て開設準備室へ異動
- 吉祥寺ナーシングホームディサイバースセンター長 吉祥寺ホーム統括施設長歴任
平成23年緑寿園異動
- 施設長の任務と法人事務局長の兼務、さらに常務理事を歴任
- 現在 社会福祉法人至誠学舎東京の理事長
- 大久保実 平成8年入職
吉祥寺ナーシングホーム等勤務
- 現在 吉祥寺老人ホーム施設長と吉祥寺ホーム統括施設長兼務
- 能丸創 平成6年入職
開設準備室勤務
- 吉祥寺ナーシングホーム勤務
- 現在 吉祥寺ナーシングホーム施設長
- 篠宮妙子 平成4年入職
緑寿園勤務を経て開設準備室へ異動
- 現在 吉祥寺ナーシングホーム在宅介護・地域包括支援センターセンター長と吉祥寺ナーシングホーム指定居宅介護支援事業所管理者兼務
- 小泉千加子 平成4年入職
緑寿園勤務を経て開設準備室へ異動
- 吉祥寺ナーシングホームから吉祥寺老人ホームへ異動
- 現在 吉祥寺ナーシングホーム室長
- 阿紀子 平成5年入職
緑寿園勤務を経て開設準備室へ異動
- 吉祥寺ナーシングホームから吉祥寺老人ホームへ異動
- 現在 吉祥寺老人ホーム主任
- 木村健一 平成6年入職
緑寿園研修を経て開設準備室へ異動
- 吉祥寺ナーシングホームに勤務
- 現在はディサイバースセンターと兼務
- 渡部雪 平成28年入職
吉祥寺ナーシングホームに勤務



吉祥寺ホーム創設30周年記念に向けて

デイサービスセンター

吉祥寺ホームが30周年を迎えるという事で、デイサービス職員にインタビューしてみました。

《 Question 》
①働いていて嬉しかったことは？
②吉祥寺ホーム(デイサービス)の好きな所。もしくはここでのやりがいとは？

古川綾子(相談員在籍10年)
①名前を憶えてもらったことです。
②吉祥寺ホームの好きな所は窓から見える(緑)景色です。

鈴木美智子(介護職在籍8年)
①60歳を過ぎてから入職しました。この年齢でも出来る事がある必要とされていると思うと嬉しかったです。
②ADL体操や脳トレをやっている際、ご利用者が一生懸命に取り組んでいる姿を見て一体感とやりがいを感じます。

矢嶋亜衣(介護職在籍3年)
①誕生日のインタビューの際、利用者から「ここに来るのが本当に好きなんです」と言ってもらえた時は嬉しすぎて泣いてしまいました。



②職員が、ご利用者に喜んでもらえるようにと常に考えて行動している所がこの好きな所です。とても素敵な先輩方です。

沖野美恵子(介護職在籍3年)
①ご利用者やご家族に掛けていただく「ありがとう」という言葉にこれ以上の喜びはありません。
②デイの良い所は働く中で身についた知識を自分の実生活で活かせることが多い所です。

伊関節子(介護職在籍1年)
①ご利用者や実習生と一緒に作った貼り絵や作品が完成した時に喜んでもらえた事が嬉しかったです。
②ご利用者が運動したり、歌ったりたりとレク活動にとても前向きに取り組んでいる姿が好きです。



宮坂悠子(機能訓練指導員在籍11年)
①ご利用者が笑顔で訓練に参加してくださる時です。
②この好きな所は明るい職員・中庭・施設内に沢山ある桜です。



今後も吉祥寺ホームとデイサービスをどうぞよろしく
お願い致します。



北町キャラバン開催中です！

在宅介護・地域包括支援センター

吉祥寺ナーシングホーム在宅介護・地域包括支援センターでは、今年も10月からフレイル予防のための体操とミニ講座を組み合わせ「北町キャラバン」を開催しております。1クール全3回、1回1時間半、定員10名程度の小さな会で、皆さんに参加して頂きやすいよう、いくつかの会場を回って開催します。10月は吉祥寺ナーシングホーム、11月は障害者地域生活支援ステーション「わくらす武蔵野」、12月は中央図書館をお借りして実施します。



今回は地域の皆様からアイデアを頂き、体操の他に保健師と管理栄養士による栄養の話、看護師によるフットケアの話、ボッチャ体験をキャラバンに取り入れ、時間を30分増やして行います。皆さんと一緒に体を動かしたり、健康に役立つ話を聞いて意見交換しながら、参加者同士気軽に交流できる場にしたと思います。

対象は吉祥寺北町地域にお住いの、概ね65歳以上の方です。お気軽にお問い合わせください。

北町キャラバン今後の予定

《11月の会》

開催日：11月6日(水)、13日(水)、20日(水)

時間：10時～11時半

場所：わくらす武蔵野 地下一階オリブホール

《12月の会》

開催日：12月11日(水)、18日(水)、25日(水)

時間：10時～11時半

場所：武蔵野市立中央図書館 3階視聴覚室

◎11月、12月共に内容は同じで、栄養に関する話(保健師・管理栄養士)、フットケアの話(訪問看護師)、ボッチャ体験に参加頂きます。

【問い合わせ先】

吉祥寺ナーシングホーム
在宅介護・地域包括支援センター
0422-20-0847

★会場を探しています！
★お手伝い頂ける方も募集中です！



今号も長く活動してくださっているボランティアさんからメッセージを頂きました！

出会いと学びの場

渡辺 眞智子

吉祥寺ホーム創設30周年おめでとうございます。

散歩中にホームと出会って20年以上たちます。その頃は続けられるか不安に思っていました



でしたが、沢山の魅力的な方々に出会い、今に至るまで継続できました。感謝しています。

思い出は多々ありすぎて悩ましい限りですが何とかまとめてみました。

ご利用者の方達との会話でよく話題に上がったのは戦争時の話でした。皆様は満州の事とか田舎の事などを熱く語ってくださいました。戦争は嫌ですね。

出身地のお雑煮自慢は盛り上がりました。美味しい食べ物の話は心が豊かになります。

家族に迷惑をかけたくないという所している方、介護用の靴を嫌だと毅然と中ヒールを履いて(周りの人を心配させていた(百歳近い方など)人生の先輩達に驚き学ぶ事も沢山ありました。

3.11東日本大震災の時はナーシングのさくら食堂で皆様に励ましつつも心細い時間を過ごした

のは思い出深い事です。

ボランティア講座では、講師陣も語り尽くせない程素晴らしい方々で良かったです。特にホーム集会所で講師を間近にして聴講できたのは幸せでした。



2007年3月15日
ボランティア感謝の集い記念講演
アルフォンス・デーケン氏
「よく生き、よく笑い、よき死と出会う」

今は閉館の中野サンプラザでの法人100周年記念式典にもボランティアとして参加させて頂き代々努力を積み重ねてきた法人の歴史を感じました。

20年間に交流したボランティアは個性豊かで互いに学びがあり楽しい仲間となりました。ご利用者とのバスハイクはもちろんボランティアバス研修も再開すればと思います。

最後に私事ですが：・
姑と暮らし始めたところ連日の葛藤でお互い疲れ果ててこんなはずの同居ではなかったと思ひ悩みましたが、ケアマネジャーさん之間に入って助かりました。

姑はいまでは私達に感謝して施設で穏やかに過ごしています。第3者(介護関係者、ボランティア仲間)が間に入ることは潤滑油になるのだとしみじみ思います。

いつか行く道 迷いながらも素敵なた時間と出会いに感謝して歩みます。

夏祭り

藤澤 俊郎

日本語のなかで一番好きな言葉は「夏祭り」です。誰もが懐かしい思い出があり、そしてウキウキ、わくわくする言葉です。



吉祥寺ホームでは毎年夏祭りの協力をさせて頂いてもらいましたので、今も記憶が鮮明に残っています。小さなお子さんから大人まで模擬店の前で今か今かと始まるのを並んで待ち、そしてようやく手に入ったカキ氷・焼そば等を嬉しそうに頬張っている姿は忘れられません。



神輿の先導・模擬店の売り子と大活躍!

コロナの影響で中止はやむを得ませんが、是非再開して頂き、元気を熱望しています。その際は是非、協力させて頂いてますのでよろしくお願ひします。



さつき祭

ケイ&エヌ



五月晴れの半日、前庭で開催されたさつき祭。いわばホームの文化祭のようなイベントでした。ご利用者の作品が展示

され鑑賞する事もできました。成蹊大学ボランティアグループの準備したゲームコーナーでご利用者と楽しむ地域の子どもたちの歓声。国立音大生の器楽演奏、農工大生によるジャグリング、女子美利用者や地域の保育園児や小学生を楽しませてくれました。カメラボランティアさんは「写真やさん」で家族写真を撮影してくれました。福祉の会はバザーを手伝ってくれました。

私たちは手作りを販売しました。忙しい思いも楽しい思い出となりました。(談)

